

平等な学習機会を実現する デジタルバッジの可能性

デジタルバッジは、学習者が自らの学習成果を証明し、次のステップに進むための道標を提供するものであり、学習者中心の教育を実現することを可能とします。近年、特に、生涯学習や遠隔教育に取り組んでいる高等教育機関において、学習者一人一人の学習成果を証明する手段として注目されています。

また、デジタルバッジは、学習成果の可視化だけではなく、教育格差の解消、学びの積み上げ可能性及び国際的相互互換性確保による国際的な教育の質の保証といった課題の解決手段としても期待されています。

本シンポジウムにおいては、国内外の専門家を招き、事例とともに多角的な視点からデジタルバッジをめぐる現状について共有し、社会全体への普及に向けた展望を共有します。

2025年
12月3日(水)
13:00-17:30
(受付12:30~)

放送大学
東京文京学習センター
多目的講義室 1

地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅下車
(出口1) から徒歩3分

開催形態: ハイブリッド形式(対面+オンライン配信)
使用言語: 日本語および英語(Zoomによる自動翻訳字幕)
参加費: 無料(要事前申込)
申込方法: こちらから

https://zoom.us/webinar/register/WN_wiq_JIZ0RNytf9C3hw4nQQ



配信: Zoomウェビナーを使用したライブ配信
シンポジウムを録画、後日オンデマンドで視聴可能

司会進行: 青木久美子教授

13:00~13:10	開会挨拶	岩永雅也 (放送大学学長)
13:15~14:00	基調講演① 質疑応答	「クレデンシャルの透明性とデジタルバッジ: 学習成果の意味と可能性を拓く」 Jeanne Kitchens (米国 Credential Engine社 CTO)
14:00~14:45	基調講演② 質疑応答	「平等な学習機会を促進するデジタルバッジの可能性」 Serge Ravet (フランス Open Recognition Alliance社 President)
14:45~15:05	休 憩	
15:05~15:50	国内講演① 質疑応答	「最後発から最先端へ: デジタル学修歴証明の相互運用性をめぐる世界と日本」 中崎孝一 (フローニンゲン宣言ネットワーク財団 戦略諮問委員 未来工学研究所 主席研究員)
15:50~16:35	国内講演② 質疑応答	「日本の高等教育におけるマイクロクレデンシャルの制度的展開と質保証」 野田文香 (独立行政法人 大学改革支援 学位授与機構 研究開発部教授)
16:35~16:45	休 憩	
16:45~17:20	パネルディスカッション	「デジタルバッジで広がる学習機会とその信頼性」 司会: 青木久美子 (放送大学 情報コース教授)
17:20~17:30	閉会挨拶	仁科エミ (放送大学 附属図書館長)